

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
- ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
- ②1～4号機タンク貯蔵量
- ・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5、6号機滞留水貯蔵量
- ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
- ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約930 m ³	- (水抜き完了)
2号機	約1,190 m ³	- (水抜き完了)
3号機	約1,230 m ³	- (水抜き完了)
4号機	約10 m ³	- (水抜き完了)
合 計	約3,360 m ³	

(合計)+80[m3/4週] (合計)+80[m3/週]

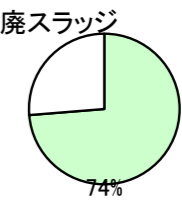
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約9,270 m ³	T.P.854
高温焼却炉建屋	約2,060 m ³	T.P.-541
合 計	約11,330 m ³	

(合計)-50[m3/4週] (合計)+560[m3/週]

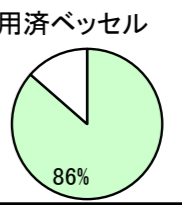
	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	673 m ³	1,200 m ³
SPT(A)	407 m ³	3,100 m ³
SPT(B)	1,838 m ³	3,100 m ³
1号CST	620 m ³	1,600 m ³
2号CST	1,895 m ³	2,200 m ³
3号CST	1,616 m ³	2,200 m ³
パツファタンク	506 m ³	700 m ³

(合計)+1120[m3/4週] (合計)+863[m3/週]

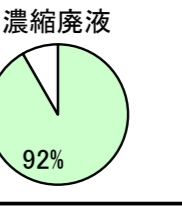
④廃棄物発生量



保管量:516/700[m3]※3

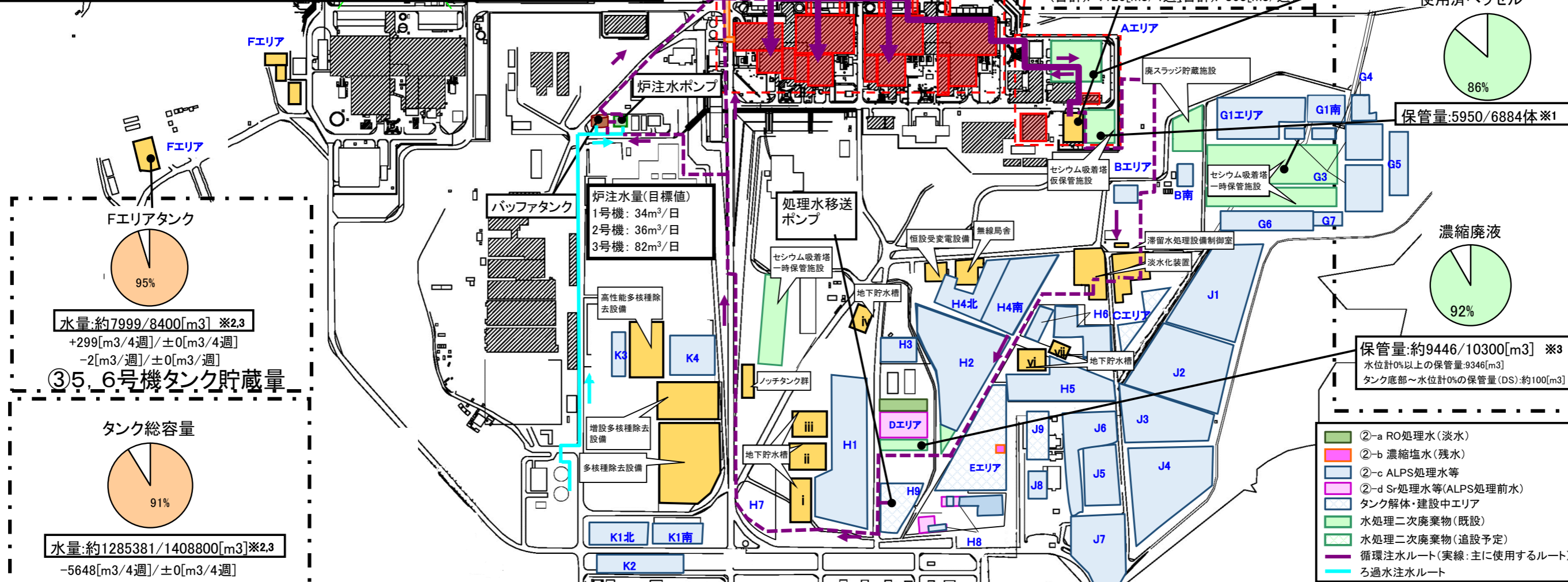


保管量:5950/6884体※1

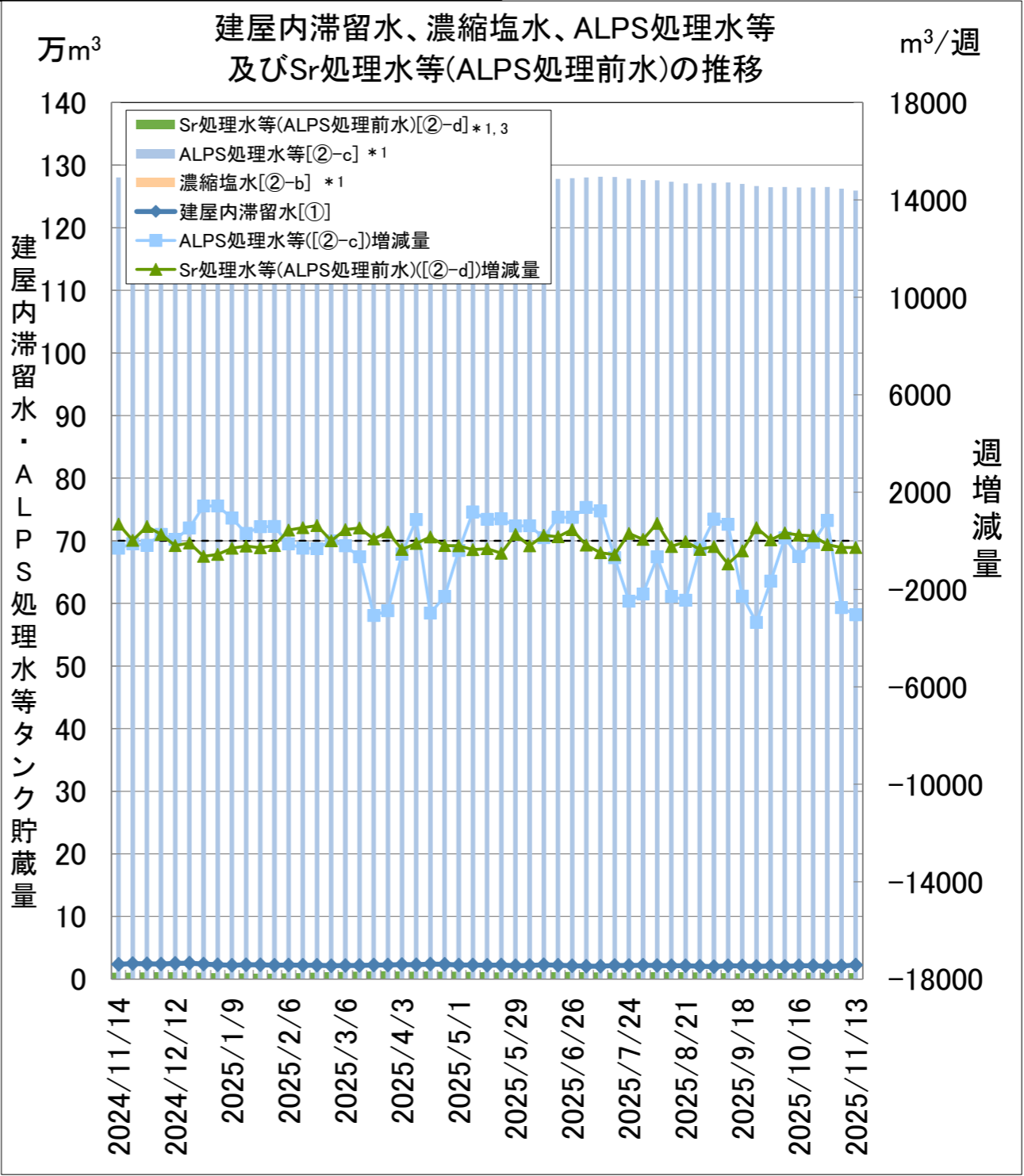
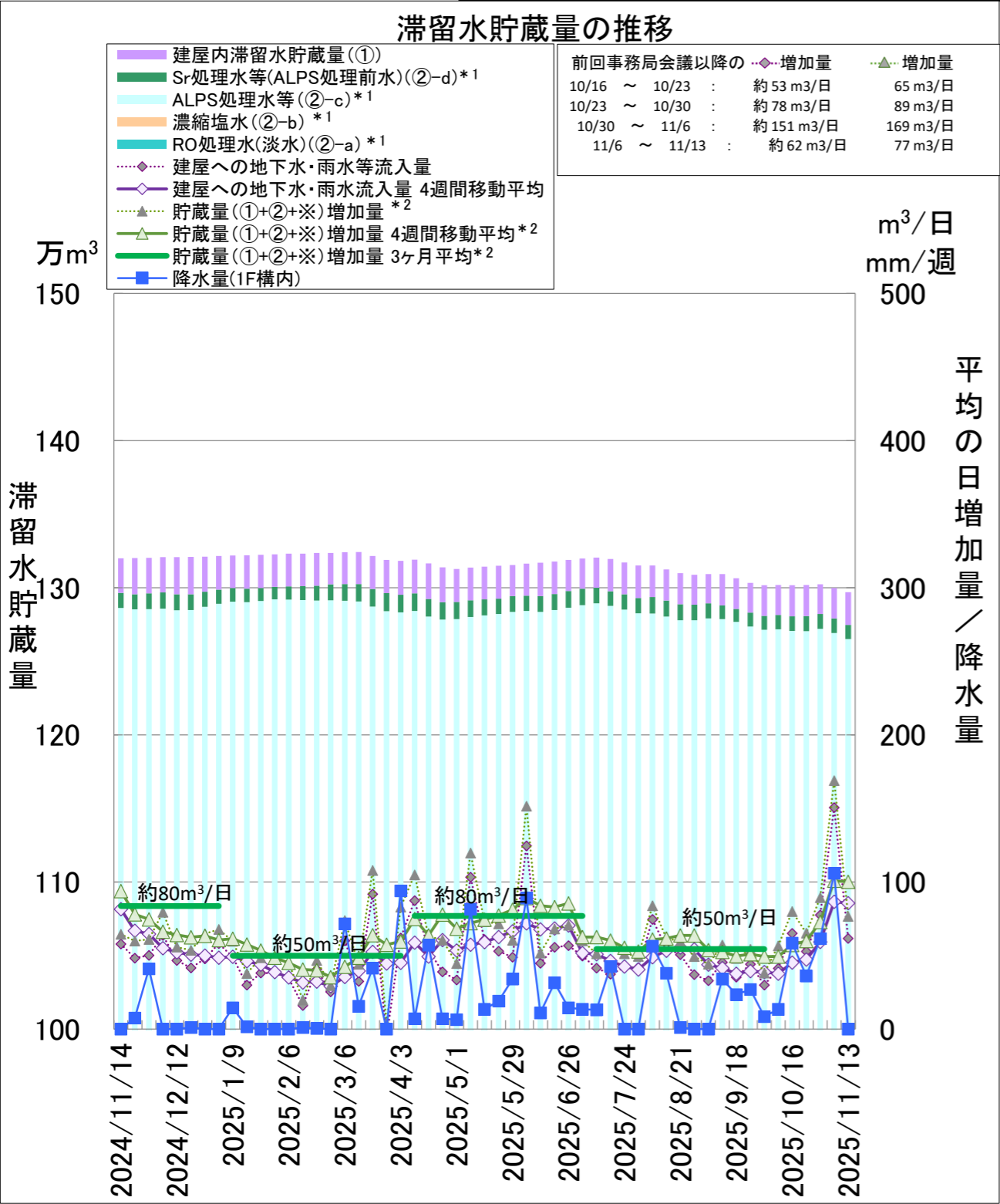


保管量:約9446/10300[m3] ※3
水位計0%以上の保管量:9346[m3]
タンク底部～水位計0%の保管量(DS):約100[m3]

- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c ALPS処理水等
- ②-d Sr処理水等(ALPS処理前水)
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート



滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1～4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(A)、SPT(B)、1～3号機CST、パッファタンク)

②: 1～4号機タンク貯蔵量([②-aRO処理水(淡水)]+[②-b濃縮塩水]+[②-cALPS処理水等]+[②-dSr処理水等(ALPS処理前水)])

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

* 1: 水位計0%以上の水量

* 2: 汚染水発生量の算出方法で算出 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)], ALPS処理水の放出量は加味していない

* 3: 多核種除去設備のクロスフローフィルタの詰まり等に伴う設備稼働状況によりSr処理水等の処理量が増減

多核種除去設備等の稼働状況

設備	期間処理水 ^{注1,4)}		定格処理量
	[m3/週] ^{注2)}	[m3/4週]	
既設多核種除去設備	350	442	750以上
増設多核種除去設備	0	2,030	750以上
高性能多核種除去設備	0	0	400以上
高性能 検証試験装置	0	0	50
合計	350	2,472	

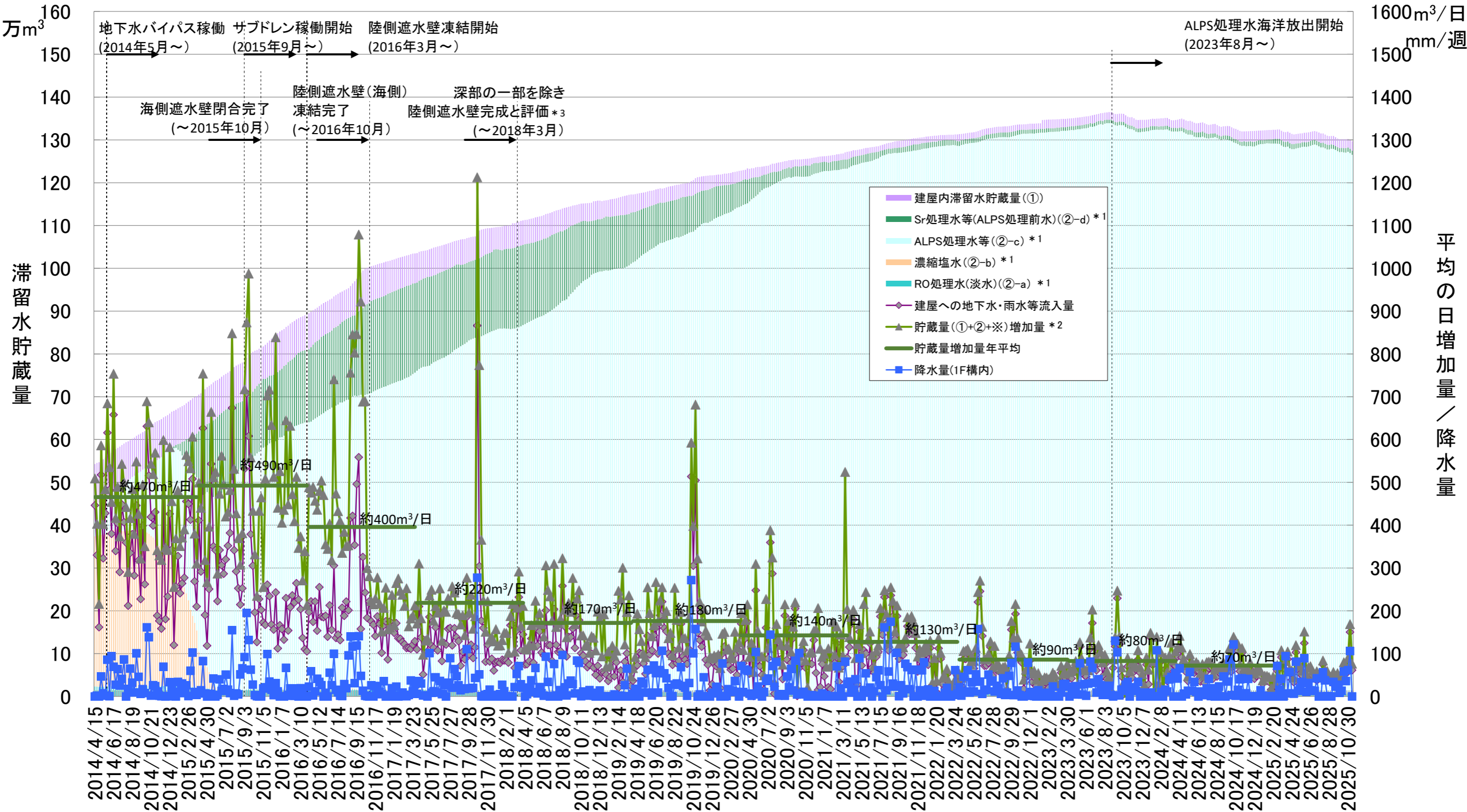
注1) 処理量は全て出口積算流量計から算出しており、薬液注入量を含む。

注2) 処理量350 m³の内訳はRO濃縮塩水処理量 0m³、Sr処理水処理量340m³、処理水処理量0m³、薬液注入量他10m³注3)を含む

注3) 処理水を用いて粉体を溶かし生成している薬液量(0m³)を含む。

注4) 設備の出口積算流量計を基に算出

滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1～4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(A)、SPT(B)、1～3号機CST、バッファタンク)

②: 1～4号機タンク貯蔵量
〔〔②-aRO処理水(淡水)〕+〔②-b濃縮塩水〕+〔②-cALPS処理水等〕+〔②-dSr処理水等(ALPS処理前水)〕〕

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

* 1: 水位計0%以上の水量

* 2: 汚染水発生量の算出方法で算出 〔(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)〕、ALPS処理水の放出量は加味していない

* 3: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了